

2025年2月21日  
株式会社日本政策金融公庫  
名古屋支店

**株式会社名城ナノカーボンに「スタートアップ支援資金」を適用**

～ 三菱UFJ銀行との連携により、単層カーボンナノチューブの開発に取り組む  
スタートアップを支援 ～

日本政策金融公庫（略称：日本公庫）名古屋支店中小企業事業は、名城大学発スタートアップの株式会社名城ナノカーボン（本社：愛知県名古屋市守山区、社長：橋本 剛）に対し、三菱UFJ銀行と総額90百万円の協調融資を行いました。

株式会社名城ナノカーボンはカーボンナノチューブ（CNT）の中でも高機能、高付加価値な単層CNTを開発・製造しております。単層CNTはリチウムイオン電池のエネルギー効率改善やケーブルの軽量化への貢献が期待される先端材料であり、複数の分野で活用の研究開発が進められております。この度の融資は、事業の拡大に必要な単層CNTの量産化に向けた製造装置の設備資金を供給するものです。

「スタートアップ支援資金」は、日本の経済成長及び社会課題の解決を先導することが見込まれるスタートアップの成長を支援するため、令和5年2月から取り扱いを開始した特別貸付制度です。

日本公庫は、国の施策に基づく政策金融機関として、今後とも、民間金融機関等と相互に連携を行い、本融資制度を活用し、スタートアップを積極的に支援していきます。

<融資先の概要>

企業名	株式会社名城ナノカーボン	代表者	橋本 剛
住所	名古屋市守山区桜坂 5-301 サイエンス交流プラザ	業種	その他の無機化学製品製造業

当事業の概要

当社は名城大学発スタートアップとして、単層CNTの開発、製造、販売を手掛けている。当社が開発したMEIJO eDIPS法により製造された単層CNTは世界トップクラスの品質を誇る。

単層CNTの特性である導電性や半導体性等は純度、結晶性、長さ、並びに直径により変化するが、当社の触媒コントロール技術によりこれらを高い水準で実現している。また、単層CNTは分散させる（均一に混ぜる）ことが難しい素材であり、結晶性が高まるほど難易度が上がるところ、長年の研究開発によりナノレベルでの分散技術も確立している点に特徴を有する。

当社が開発・製造する単層CNTはリチウムイオンバッテリーや半導体製造部品等の材料としての活用が期待される先端素材であり、現在、量産化に向けたプロトタイプ4号機を開発し、製造コスト引下げ及び安定供給に取り組んでいる。

「株式会社名城ナノカーボン」へのお問い合わせ TEL052-736-2322（担当：橋本）

<お問い合わせ先>

日本政策金融公庫 名古屋支店 中小企業事業 TEL：052-551-5181（担当：牧野、笠井）  
住所：名古屋市中村区名駅三丁目25番9号 堀内ビル8階